

## 別紙5 安佐医師会病院生化学自動分析装置購入契約仕様書（保守見積含む）

### 1 品目

生化学自動分析装置一式

### 2 基本構成

#### 2-1 生化学自動分析装置一式

- (1) 自動分析装置本体 1式
- (2) 純水製造装置 1式

### 3 機器仕様

#### 3-1 生化学自動分析装置一式

<自動分析装置本体>

- (1) 分析部（操作部を含む）の外形寸法は 1,960mm（幅）×840mm（奥行き）×1,240（高さ）mm 以内であること。（但し、高さは本体部とする。）
- (2) 操作部は、装置と一体となっていること。
- (3) 17 インチ以上の大きさのモニターでタッチスクリーン機能を有すること。

<自動分析装置性能>

- (4) ディスクリット方式で多項目同時分析を行うこと。
- (5) 処理能力は、吸光度分析 800 テスト/時、光散乱分析 800 テスト/時、凝固時間分析 150 テスト/時（PT 単独）、電解質 600 テスト/時、HbA1c200 テスト/時（自動溶血）の処理能力を有すること。
- (6) 反応時間は、吸光度分析 3 分から 10 分、光散乱分析 4 分から 10 分の間で 1 分毎に設定が可能であること。凝固分析最長 5 分で 1 分毎に設定が可能なこと。
- (7) 反応液量は、吸光度分析 100  $\mu$ L、光散乱分析 200  $\mu$ L、凝固時間分析 75  $\mu$ L が測定可能なこと。
- (8) 反応容器は、セミディスパーザブルおよびディスパーザブルであること。
- (9) 反応過程は、全反応過程の測光を行い、モニタリングができ、任意で選択した反応過程を同時に見ることができること。
- (10) 分析法は、エンドポイント法、レート法など 5 種類の分析法からの選択が可能で、全ての分析法においてプロゾーンチェックが可能なこと。また、同一反応セルで 2 項目の分析が可能なこと。
- (11) 検線量は、リニア法、Kファクター法、非直線法などによるキャリブレーションが可能で、非直線法では折れ線キャリブレーションが可能なこと。

- (12) 波長は、反応管直接測光方式で、2波長または1波長測光が可能なこと。
- (13) 光源は、光散乱分析、凝固時間分析はLED光源を使用していること。
- (14) 検体供給は、ターンテーブル型のディスクサンプラーであり、100検体以上の同時架設が可能であること。サンプルカップ、採血管など異なるサイズの試料容器の混在架設が可能であること。標準液、精度管理試料を50本以上架設することが可能なこと。自動再検機能を有すること。
- (15) 試料分注は、サンプルプローブには詰まり検知機能が標準搭載されており、テスト毎に詰まりの検知が可能であること。1.5 $\mu$ Lの分注が可能であること。検体容器から直接反応セルに分取する方式であること。検体前希釈機能を有すること。血漿検体からの血球吸引を行った後、サンプルプローブの外壁を洗浄水でぬらす事無く、吸引した血球を吐出する事ができる機能を有すること。血漿検体からの血球の吸引と吐出を行った後、接液したサンプルプローブの外壁を洗浄し、更に、外壁に残存する洗浄水を除去できる機能を有すること。
- (16) 試薬容器は、2試薬系の比色項目で43項目以上の同時架設が可能であること。バーコードで管理でき、フリーセッティングが可能なこと。
- (17) 電解質は、イオン選択電極法で、自社製の電極を搭載していること。Na、K、Clの3項目の同時分析が可能で、3項目の電極は独立しており、個別に交換できること。
- (18) 凝固分析は、凝固時間検出部で凝固法の測定が可能であること。また、他検出部で合成基質法、免疫比濁法、凝集法の測定が可能であること。凝固時間検出部が6個あり、同時分析が可能であること。測定波長700nmであること。
- (19) リアルタイム精度管理、日内・日差精度管理などの精度管理機能を有すること。
- (20) スリープ状態から自動立ち上げが可能で、予め登録した一連のメンテナンスを連続して実行ができること。
- (21) 測定結果は、項目毎にリアルタイム表示できること。
- (22) 緊急検体について、ホストシステムへの結果送信を項目毎に行うことができること。
- (23) 検体ごとの結果出力予測時間を表示できること。
- (24) キャリブレーション、コントロール測定において、結果出力予測時間を表示できること。
- (25) オンラインヘルプ機能を有し、操作法などのサポートができること。
- (26) セキュリティ対策として、オペレータID管理とログインレベルによる操作制限が可能であること。

<純水製造装置>

- (27) 純水製造装置の造水能力は、60L/h以上であること。

<搬入・設置条件及び調整等>

- (28) 当院部門システムサーバーとの接続を行うこと。
- (29) 設置場所は、導入病院が指定した場所に設置すること。

- (30) 調達物品の搬入および仕様を満たした据付、配線、調整等の工事について落札業者の負担にて行うこと。
- (31) 機械および周辺装置の配線等は、当院関係者と十分協議したうえで施工すること。  
＜サービス体制・保守体制・その他＞
- (32) 調達物品の故障、不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず夜間および祝祭日でも修理等の対応、連絡体制が整備されていること。
- (33) 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。
- (34) 納入期より1年間は、保証、保守の対応を無償で行うこと。
- (35) 無償保証期間内に行った調整・修理等全ての作業について、その作業内容をその都度病院担当者へ報告すること。
- (36) 装置稼働前に、担当医師及び担当技師への教育訓練を行うこと。
- (37) 納入期限内に、当院が指定した場所に設置し、安定した稼働が出来ること。
- (38) 調達物品の納入前に、設置等にかかる日程表等を提出すること。
- (39) 調達物品の取扱については、当院の関係者に対して十分な説明を行うこと。
- (40) 導入する装置は、導入時に薬機法承認がとれた製品であること。

以上